

えちぜん

【教育目標】

強く
やさしく
考え深く

※ホームページ「学校日記」も随時更新しています 令和3年7月21日 新潟市立越前小学校

子どもが自ら学びに向かう力を付けるために

校長 山田 里恵子

地域、保護者の皆様、いつも越前小学校の教育活動にご支援、ご協力いただきまして、ありがとうございます。お陰様で、明日から、無事に夏休みを迎えることができます。

令和3年度、引き続き、コロナ禍で教育活動を進めていく中で、子どもたちが、今後も起こり得る予測不能な世の中をたくましく生き抜くことができるよう、「自ら学びに向かう力」を身に付けることが大切であると深く感じています。

そのために、今年度は、以下の3つの重点目標を設定し、教育活動を進めてきました。

目指す力を育成する授業の質的な向上

学習課題の解決に向け、個々に学ぶ場と考えを共有する場、自分の考えを見直す場の設定を工夫する。

自立を促す生徒指導の推進

子ども一人一人のよさを発揮し、かかわりを通して自己肯定感を高める学校行事、学級活動の場の設定を工夫する。

多様な学びを保障する特別支援教育の推進

子ども理解に努め、個々のニーズに寄り添い、全ての子どもが分かりやすく、安心して学習できる教育環境を整備する。



録画した音読で互いに助言(2年)



音読を録画して自己評価(1年)

3つに共通しているのが、「個々の学び」と「協働の学び」の場の設定と充実です。ICT端末(タブレット)の活用は、それらを実現するための大きな力になると実感しています。

子どもの適応の早さと、その学習効果は大きく、例えば、左の写真は、音読を録画し、声の大きさ、速さ、表情など、相手に伝わるかを自己評価したり、見合ったりしている場面です。下の写真は、記録や調べ学習、考えを共有するツールとして活用している場面です。授業では、共有した考えを元に自分の考えを見直し、考えを深める力も大切にしています。

ノート指導など今まで大切にしてきたこととのバランスも大切です。今後も「自分の考えをもち、他者の考えから学ぶ」「友達と協働して課題を解決する」など、ICT端末を活用してどのような力を付けるのかを明確にし、子どもと共有しながら学習に活用していきたいと考えています。

夏休み、ご家庭でもお子さんの学習に生かしてください。



村上の修学旅行で記録しその場で編集(5・6年)



考えの共有と発表ツールとして活用(3・4年)

地域の魅力を生かし、子どもが自ら学びに向かう力を育む

6月1日（火）浜っ子味噌づくり（3年生）

早朝から、学習ボランティアの方が煮た大豆を器械で細かく挽き、糶と昨年度5年生がつくった塩を混ぜました。そこに大豆の煮汁を入れました。さらによく混ぜ、味噌玉をつくり、「美味しくなあれ」と願いながら樽に投げ入れました。



6月8日（火）上堰潟公園散策（1・2年生）

1年生は自然探し、2年生はザリガニ釣りです。たくさんの学習ボランティアの方々が活動と安全を見守ってくださいました。1年生は、五感を働かせ、たくさんの自然を見付け、2年生は2匹のザリガニを手に入れ、学級で育てました。



6月9日（水）葡萄の木の剪定（6年生）

セトワイナリーで葡萄の木の生長の様子を観察し、美味しい葡萄に育てるための剪定のやり方を教えていただきました。一人一本葡萄の苗木をいただき、育てています。瀬戸さんに葡萄の木の育て方の助言もいただきました。



6月16日（水）全校海岸清掃（4年生主催）

4年生が、事前調査や調べ学習の後、全校と地域、保護者の皆さんに呼び掛け、海岸清掃を行いました。護岸工事に携わる水倉組、加賀田組の皆さんにも参加していただきました。上学年下学年でペアになり、たくさんゴミを拾いました。



6月30日（水）浜の学校でとんぼブローチ作り

竹や材料に、トンボブローチを作りました。羽は、角を爪切りでパチンパチンと切って、形作りました。胴体は、細い竹を丁度よい長さに切りました。安全ピンにボンドで羽と胴体と目を付け、オリジナルのブローチができました。



7月6日（火）ガラス工芸体験（6年生）

図工の学習で、地域で工房を営む星名さんにガラス工芸を教えてくださいました。自分のデザインに合わせて色や形を選んだり切り出したりしたガラスを組み合わせ、角皿を仕上げました。その後、星名さんの工房で焼く作業を行いました。



7月15日（木）塩づくり体験（4年生）

巻漁港の近くの浜で、夢育塾の山下さんや学習ボランティアの皆さんに教えてください、塩づくりを行いました。塩田にする場所のゴミ拾いをし、海水を撒き、レイキで砂をならし、その砂を集めました。砂は学校でミニ塩田にしています。

